

第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)

実物制作指定作品展

入場無料

2024年10月27日から12月22日開催の

第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)に出品される野外彫刻15点の模型を展示します。

10月27日(金)～12月3日(日)

10:00～16:00 ※休館日:火曜日

【会場】ときわ湖水ホールアートギャラリー



彫刻ライトアップ

第29回展出品作品をライトアップします。

10月6日(金)～2024年1月8日(月・祝) 17:30～21:30

【会場】UBEビエンナーレ彫刻の丘



彫刻ビンゴ&彫刻ぬりえ

8月9日(水)～2024年1月29日(月) 9:00～17:00 ※休館日:火曜日、9月4日(月)

【会場】ときわミュージアムUBEビエンナーレライブラリー

【ときわ湖水ホールへのアクセス】

- ◎市営バス
「湖水ホール入口」から徒歩3分
「ときわミュージアム」から徒歩10分
「ときわ公園」から徒歩10分
「ときわ公園入口」から徒歩15分
- ◎JR
「新山口駅」から「ときわ公園入口」まで特急バス30分
「新山口駅」から「常盤駅」まで宇部線で30分
「宇部駅」から「常盤駅」まで宇部線で30分
※「常盤駅」から徒歩20分
- ◎車
山陽自動車道「宇部I.C.」から15分
山口宇部道路「宇部南I.C.」から5分
「山口宇部空港」から5分
※「ときわ公園東駐車場」が最寄りです



第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)

The 30th UBE BIENNALE International Sculpture Competition

入場無料

応募作品展

Exhibition of Sculpture Models

【会場】ときわ湖水ホール 大展示ホール 山口県宇部市大字沖宇部254番地(ときわ公園内)



映画で見るアート

10月6日(金)～12月3日(日)

【会場】ときわ湖水ホールアートギャラリー



17分 18秒

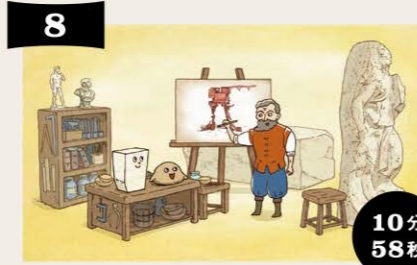
「UBEビエンナーレ60年の歴史」

会期中 ループ上映

無料

制作/A+E Creative Partners
語り/別所哲也

UBEビエンナーレ60年の歴史をまとめたドキュメンタリー。野外彫刻展60周年と宇部市制施行100周年を記念し、心に癒しと力を与えるアートの普遍的な価値を伝えていくため制作されました。長くアーティストの創作の場となってきた野外彫刻展。そしてそこから生み出された作品は宇部の風景を作り上げてきました。UBEビエンナーレのあゆみが、アーティストや市民の視点を通して語られます。



10分 58秒

「ネンドリアンとマーブルの彫刻ってなあに？」

会期中 ループ上映

無料

制作・監督/アニメーション/城井文
プロデューサー/亀井伸二(STORK)

登場するのは、伝統的な彫刻の素材である粘土の「ネンドリアン」と大理石の「マーブル」、そして15世紀のイタリアの芸術家ミケランジェロ・ブオナローティをモデルにした「ミケランジェロ先生」。エジプトやギリシャの優雅な神々の彫像から、縄文時代のユニークな土器・埴輪、世界と時代を超えて数万年続く彫刻の歴史について学びながら、現代の宇部の彫刻の面白さや楽しみ方を発見していくショートストーリー。

【お問い合わせ先】

宇部市文化振興課UBEビエンナーレ推進係
TEL:0836-34-8562 FAX:0836-22-6083
E-mail:museum@city.ube.yamaguchi.jp
URL:https://ubebiennale.com

UBE BIENNALE
UBE International Sculpture Competition

宇部市の野外彫刻は200点超！
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



INFO

映画鑑賞者を対象に、鑑賞ワークショップを開催します。

10月14日(土)

【ゲスト】岡野晃子(映画監督・キュレーター)

映画を制作された岡野晃子さんにユニバーサルな取り組みについてお話を伺い、実際に「ふれてみる」鑑賞を体験します。

10月22日(日) 午前・午後各1回

【ゲスト】白鳥建二(全盲の美術鑑賞者)

映画に出演されている白鳥建二さんと一緒に、午前の回は室内彫刻、午後の回はときわ湖水ホール周辺の野外彫刻を鑑賞します。

映画で

見る

アート



入場無料

※一部有料上映有り

【会場】ときわ湖水ホールアートギャラリー 山口県宇部市大字沖宇部254番地(ときわ公園内)

第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)
The 30th UBE BIENNALE International Sculpture Competition

応募作品展

Exhibition of Sculpture Models

世界中から集まった、
野外彫刻の模型を大公開!
実物制作される作品はどれだろう?

2024年秋開催の第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)に向けて、一次審査に寄せられた野外彫刻のための模型をすべて公開する展覧会です。
応募された模型のうち15点が来年秋に約10倍の大きさの野外彫刻となってUBEビエンナーレ彫刻の丘に展示されます。

9月24日(日)～10月22日(日)
10:00～17:00 ※火曜日休館、最終日は15:00まで

[会場]ときわ湖水ホール 大展示ホール
山口県宇部市大字沖宇部254番地(ときわ公園内)



入場無料

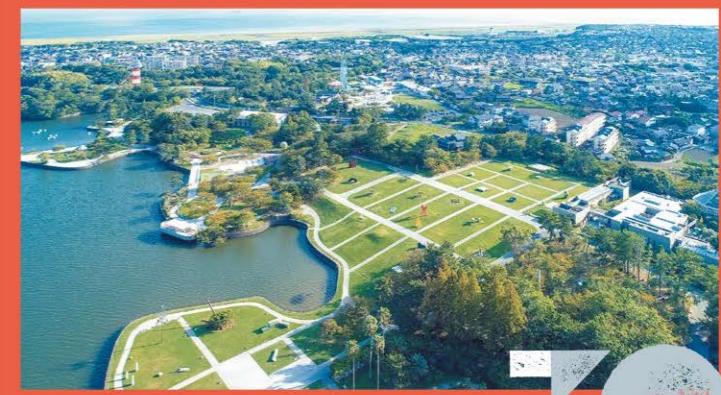
[主催] 宇部市、UBEビエンナーレ運営委員会、毎日新聞社
[特別協賛] UBE株式会社
[後援] 国際交流基金、山口県、山口県教育委員会、山口県立美術館、秋吉台国際芸術村、山口情報芸術センター、下関市立美術館、九州国立博物館、島根県立石見美術館、北九州市立美術館、NHK山口放送局、tysテレビ山口、KRY山口放送、yab山口朝日放送、山口ケーブルビジョン、エフエム山口、エフエムきらら
[助成] 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

EVENT
彫刻オープンマイクDay!
—あなたが主役の5分間ライブ—
【日時】10月1日(日) 14:00～16:00
参加希望者はコチラ
【主催】うーぼープロジェクト

なりきり審査員!
【日時】会期中毎日
UBEビエンナーレ審査員になった気分会場内をまわりながら、お気に入りの模型に投票しよう! 抽選でUBEビエンナーレグッズが当たります!

【UBEビエンナーレ開催の流れ】

- 初年度 模型の公募 ▶ 一次審査・入選模型決定 ▶ 応募作品展
- 次年度 野外彫刻制作・設置 ▶ 二次審査・入賞作品決定 ▶ 野外彫刻展



UBE BIENNALE

第30回 UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)

[会期] 2024年10月27日(日)～12月22日(日)
[会場] UBEビエンナーレ彫刻の丘
◎二次審査・表彰式 2024年10月26日(土)

UBEビエンナーレでは野外彫刻展の開催にとどまらず、彫刻教育や多様な企画展を開催することで、アートのまちづくりに取り組んでいます。

ART IN MOVIES 映画で見るアート

アーティストや、アートを鑑賞することにアプローチした映像作品を上映します。
アートを取り巻く環境の豊かさや、アートの未来への可能性を体感できる作品が集まった企画です。

10月6日(金)～12月3日(日)
10:00～16:00 ※休館日:火曜日、10月23日(月)～26日(木)

[会場]ときわ湖水ホールアートギャラリー
山口県宇部市大字沖宇部254番地(ときわ公園内)

入場無料 ※一部有料上映有り

事前予約はコチラ

[注意事項]

- 1～4は、15分前開場/入替制/自由席(定員30名)
- 場内は、飲食禁止です。上映中は、携帯電話の電源をお切りください。
- 上映素材の状態により、音声や映像に乱れがある場合があります。

1 60分

「手でふれてみる世界」

10月14日(土) 14:00～
[有料] 1,000円(事前予約 900円)
※上映後、アフタートークとワークショップを開催。
監督・撮影/岡野晃子

多くの美術館で視覚を重視した活動が行われるなかで、子どもから大人まで、視覚に障害がある人もない人も訪れる、すべての人に開かれた美術作品に手で触れて鑑賞できる美術館をつくらうと、「オメロ触覚美術館」を開館した全盲のアルド・グラッシーと妻のダニエラ・ポッテゴニ。二人の人生とオメロ触覚美術館の存在、その活動に心を動かされたキュレーターによるドキュメンタリーです。

2 107分

「目の見えない白鳥さん、アートを見に行く」

10月22日(日) 10:00～、14:00～
[有料] 1,000円(事前予約 900円)
※上映後、アフターワークショップを開催。
監督/三好大輔、川内有緒

目の見えない人はどうやってアートを見るのだろうか。恋人とのデートがきっかけで美術館を訪れた全盲の白鳥建二。あちこちの美術館を訪れ、いつしか「自由な会話を使ったアート鑑賞」という独自の鑑賞法を編み出します。そんな「全盲の美術鑑賞者」の20年を振り返り、その友人たち、美術館で働く人々、新たに白鳥さんと出会った人々を追い、彼らが紡ぎ出す豊かな会話を追ったドキュメンタリーです。

3 49分 13秒

「芸術士とこどもたち」

11月18日(土) 11:00～、14:00～
[無料]
制作/NPO法人アーキベラゴ
「アート・シティ高松」文化芸術創出事業委託制作作品

高松市が全国に先駆けて2009年から実施している「芸術士派遣事業」で繰り広げられる、アーティストと子どもたちのドキュメンタリーです。アーティストでもある「芸術士」が子どもたちの生活に寄り添い、子どもたちの興味や表現が引き出されていく様子には、無限の可能性が感じられます。「芸術士」は、イタリアの「レッジョ・エミリア・アプローチ」という幼児教育の考え方を参考にスタートした取り組みです。

4 62分 31秒

「エレクトリックマン ある島の電気屋の人生」

12月3日(日) 10:30～、14:00～
[有料] 500円(事前予約 400円)
監督・撮影/山本草介
プロデューサー/加藤美平 制作/つなぎ美術館

熊本県天草市御所浦(旧御所浦町)で電気屋を営む家族取材したドキュメンタリー。離島の電気屋、森枝三千尋の人生を通して、人と人のつながり、つながりをつなぎとめる「ゆるやかな場」が見えてきます。一人の人間の数奇な人生とともに、出会い「表現」の思いを生み、表現が生まれ、育まれていく、そんな「表現」の有り様も見えてきます。小さな島にかつてあったこの「場」は、きっとどこにでも生まれ得るものだと思うにいらぬ作品です。

5 18分 15秒

「Love Stone Project」

会期中 ループ上映
[無料]
映像・制作/亀井岳

第25回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)で大賞(宇部市賞)を受賞した野外彫刻「Our Love」(2013/富長敦也)の制作の様子をまとめたドキュメンタリーです。500人以上の市民がワークショップに参加し、耐水やすりで磨くことで完成した「Our Love」は、石を囲んで交わされた笑顔と、人の手の柔らかな温かさを湛えているようです。人がみな、自然の一部となれば、世界はひとつになる。Love Stone Projectが始まるきっかけとなった作品です。

6 18分

「ディスタンス DISUTANSU」

会期中 ループ上映
[無料]
監督/笠井慎吾 撮影/小野強志 協力/水沢勉

第29回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)で大賞(UBE株式会社賞)を受賞した野外彫刻「ディスタンス」(2022/西澤利高)の制作の様子をまとめたドキュメンタリーです。こちら側とあちら側を隔てるアクリル板は、景色を透過し、「距離」にゆらぎを作ります。長年、裏と表などの対峙する概念に向き合ってきた作家が、磨くほどに透明度を増していくアクリルという素材に出会い、コロナ禍で変容した「距離」について考えた作品です。